

平成 22 年度第 1 回中原区区民会議課題調査部会会議録

○日 時 平成 22 年 11 月 8 日（月） 午後 2 時～午後 3 時 45 分

○場 所 中原区役所 5 階 501 会議室

○出席者 川崎委員、川連委員、反町委員、富岡委員、芳賀委員、松本委員、・房委員
（事務局）山崎副区長、企画課：綱島課長、織裳担当係長、小木曾主任、橋本職員、園田職員、宮田担当係長
（行政関係者）地域振興課：渡邊担当課長、佐藤係長、市川職員、地域保健福祉課：小金井課長、高齢者支援課：早坂課長

○傍 聴 なし

○報 道 なし

○次 第

1 開会

2 中原区区民会議課題調査部会要領について

⇒従来の要領で今後も継続することです承

3 正副部会長の互選

⇒川連委員を部会長、芳賀委員を副部会長に選任

4 会議録確認委員の選任

⇒川崎委員を選任

5 議題

（1）課題解決に向けた方策の検討について

○ 事務局：資料 1 により「第 2 回区民会議委員意見・提案の整理」を説明

○ 地域振興課：資料 2 により「防災訓練の実施状況等について」を説明

○ 事務局：資料 3、資料 4 により「課題調査部会審議の流れ」などを説明

（主な意見）

- ・ 防災訓練の実施を増やすこととコミュニティの形成を同時並行で進めるべきだ。訓練は、実施している自主防災組織と実施していない組織と差があり、まだ十分とは言えない。自主防災組織を活発にしないといけない。自主防災組織に向けて、区民会議がどのようにアピールするか考えないといけない。前回の本会議で「若い人が集まるイベントで防災に関することをアピールすればよい」という意見があったがこれも一つの方法か。97 組織ある自主防災組織が、どのように一般の人を参加させるか、どうしたら子どもに参加してもらえるかなどを考える必要がある。防災訓練は土日で開催しているので、もっと多くの方に参加してもらえる可能性がある。（・房委員）
- ・ 地元の今井中学校区では、地区合同で防災訓練の実施に向けて調整しているが、みんな防災に関心があるものの、すべての自主防災組織が開催の意向を示すには至らず難しさを感じている。自主防災組織、区民、行政の 3 者が一体となって開催に向けて気持ちを一つにしないといけない。今井中学校では、生徒と地域の人が消防署の指導のもと、災害時を想定した図上訓練（DIG）を行ったが非常に良い内容であった。子どもと大人

が地域の問題点を一緒に考えていくという新しい形であり、防災訓練にも色々なスタイルがあることが分かった。また、防災活動を活性化していくためには、啓発活動が大切である。本日、配布された「備える。かわさき（ポータブル版）」など便利な啓発物がある。目にすることも必要であるが、耳にすることも必要であり、多くの人に説明していく、また、呼びかけしていくことが必要である。（富岡委員）

- ・ 商店街では、これまで防災に関する話をしたことはなかった。「ぼうさい出前講座」を委員の出身団体など各所で行ったらどうか。また、これまで防災訓練に参加したことがないので、11月に開催される防災訓練に行ってみて参加者の声を聞いてみたい。町内会とも話し合っていたらよい。（川連部会長）
- ・ 災害の怖さを被災者は知っているが、このあたりの方はほとんど知らない。また、自分の地域のことを知らないと発災時に対応できない。多くの方が自分の地域のことを把握できていない。「自分の避難所が何処か」を知らない人が多くいると思う。各自主防災組織は、地区の住民へどこが自分達の避難所なのか知らせていく必要がある。防災のテーマでは、自分達で出来ることからやっていくよう呼びかけていく必要がある。（・房委員）
- ・ 防災の意識を高めることは必要であるが、自助の観点で「自分の身を自分で守るために何が必要か。」そのことを考えてもらう必要がある。「防災の備えをしましょう。」という呼びかけに対してどれ位の方が実際に準備しているか知る必要がある。どれ位いるのか知ったうえで区民会議としての対応を考える必要がある。例えば、乳幼児を持つ親御さんがどれくらいの準備をしているのか分かったうえで対策を考えるべきではないか。すべてお任せの気持ちではなく、自分で備えられるものは自分で備えるという気持ちを促す必要がある。（松本委員）
- ・ 子育てサロンでは何か防災に対する備えをしているか。（川連部会長）
⇒サロンの運営スタッフが、今年の2月に総務局危機管理室を招いて研修を行った。参加しているお母さん達にも聞いたが、多くの方は防災に対する備えは他人事である。平成23年度の子育てサロンの計画をこれから立てるので、総務局危機管理室の「ぼうさい出前講座」を子育て中のお母さんに向けて実施することを提案していきたい。（松本委員）
⇒私の地区では、市ノ坪上町会館でサロンを運営しているが、会館に飾ってある額縁に紐をかけたり、ガラスの飛散防止フィルムの貼り付けなど地震に向けた整備を行った。（富岡委員）
- ・ 避難訓練や避難所の話しが多く出ているが、避難経路の問題もある。防災に関するチェックシートを区民会議で作成し、各家庭に配って啓発したらどうか。中原区は人口の移動が激しい行政区なので、自主防災組織にとっては大変なことであるが、避難訓練はせめて2年に1回位は実施した方が良いと思う。また、中原区は転入者が多い中で、町内会に加入しない人も増えている。町内会に加入しないことで地域とのつながりが希薄になっているため、町内会・自治会への加入を呼びかけるべきだ。私の地域では単身者への加入の働きかけもしている。（芳賀副部会長）

- ・ 避難訓練は小学校、中学校の協力がないと実施できないのか。(川崎委員)

⇒必ずしも学校で開催する必要がある訳ではなく、公園や空地などでも実施できる。(企画課長)
- ・ 資料によると訓練は多数実施されているが、訓練の参加呼びかけを聞いた覚えがない。訓練の実施をどのように住民へ呼びかけているのか。(川崎委員)

⇒町内会・自治会、自主防災組織から回覧板・掲示板などで呼びかけをしていると思う。(企画課長)

⇒住民への呼びかけが徹底していない部分もある。その結果、新しい参加者は少ない。町内会の役員だけで実施しているところもある。呼びかけ方などを区民会議で考えてもよいのではないか。(・房委員)
- ・ 自主防災組織が97組織もあり色々な所で訓練しているのは分かったが、「避難訓練にはどの位の参加者があるのか」「どのような訓練をしているのか」実施状況について把握する必要がある。防災に関することを多くの区民に啓発していくことが大切である。家庭でできるチェックシートを作ることも良いアイデアである。音楽のイベントでは発電機や水のタンクなどを使うが、このような機材を扱う仕事をしている人やテントや災害時に活用できる道具を持っている人や団体がいるはずである。何か災害時に協力できる人を探しておく必要があるのではないか。(反町委員)
- ・ 各町内会にある公園を利用して、包帯の巻き方や応急手当の方法など小規模の訓練の開催をするのもよい。訓練をしていると人の目に触れる。何かに絞ってやれば、自主防災組織としても開催のハードルが下がるのではないかと。(・房委員)
- ・ 訓練の中で、車椅子、妊産婦、赤ちゃんを持つ人の対応など、きめ細かな訓練を実施してもらえると新しい方の参加も増えてくると思う。区民の意識を上げる工夫が必要である。(松本委員)
- ・ 現在、避難訓練に参加していない人、または参加の声掛けからもれている人を、どのように訓練に参加するよう呼びかけていくかが課題ではないかと。(川崎委員)
- ・ 大規模マンションでは避難訓練を実施することが義務付けされていないのか。(川崎委員)

⇒消防法で大規模マンションや高層マンションは、避難訓練の実施が義務付けられている。(企画課長)
- ・ 11月中に区内で実施される避難訓練に参加し、防災訓練での実態を調査したうえで課題調査部会としての取り組み事項をまとめたかどうか。(川連部会長)

⇒11月14日(日)上丸子小学校、11月28日(日)中原中学校での避難訓練の実態調査について、対応可能な委員で実施する。訓練の当日は、防災訓練の運営者や参加者に訓練での課題や問題点などを聞き取りすることとし、課題が分かってきたところで、再度部会で集まって課題解決に向けた取り組み事項を検討する。また、課題調査部会以外の委員の方へも参加を呼びかけることとした。
- ・ 委員長から提案があった11月27日(土)のなかはら子ども未来フェスタでの、子育て世代への聞き取り調査について、区民会議としてどのように実施するか。(川連部会)

長)

⇒区民会議としてアンケート調査を実施することとした。また、課題調査部会以外の委員の方へも参加を呼びかけることとした。実施方法として決定したことは以下のとおり。最終的な内容の調整は部会長に一任とした。

【実施方法】

- ・区民会議委員へ呼びかけ、時間単位でローテーションを作成し輪番で対応する。
- ・パネル展示などを行い、区民会議の取り組みをPRする。
- ・腕章などで区民会議委員と分かるようにする。

【アンケート質問内容】

- ・自分の避難場所を知っているか。
- ・災害に備えて何か備蓄などの準備をしているか。
- ・災害について、家族などと話し合いをしているか。
- ・災害気象情報用の市のメールニュースを知っているか。

【その他】

- ・若い世代の方は、携帯電話を使って情報を入手することに長けているので、モバイル川崎のホームページアドレスなどをアンケートと一緒にお知らせしたらどうか。

(2) その他

- 課題調査部会での今後の開催について協議。今回の会議でまとめるか、再度会議を招集して課題解決に向けた取り組み事項などをまとめていくか検討した。

⇒防災訓練の視察、なかはら子ども未来フェスタでのアンケート調査結果を踏まえ、課題調査部会での取り組み事項をまとめるべきという意見があり、11月30日(火)午後2時から開催することで決定

—午後3時45分 終了—

以上要約のみ